

第八回

龍門之會

金剛龍謹能の会

能 松 風



日時 2019年9月8日(日) 午後1時30分開演 午後1時開場

会場 金剛能楽堂
〒602-0912 京都市上京区烏丸通中立売上る
☎ 075-441-7222 <http://kongou-net.com/>

お問い合わせは金剛能楽堂まで。
公演情報は下記のHPにも掲載しております。
<http://www.kongou-net.com/ryumonnoikai/>

全席自由 一般券 5500円 会員券 5000円 学生券 3000円

第八回 龍門之会

令和元年九月八日(日) 午後一時半開演
於 金剛能樂堂

仕舞

放生川
鉄生輪
殺生石

廣田幸稔
豊嶋晃嗣
惣明貞助

地謡

重本昌也
豊嶋幸洋
種田道一
宇高徳成

狂言

魚説経

茂山七五三

茂山逸平

後見 柴田鉄平

休憩

仕舞

実

盛キリ

金剛永謹

地謡

向井弘記
今井克紀
今井清隆
山田伊純

能

松風

宇高竜成
金剛龍謹

福王知登

間 茂山 茂

山本哲也
成田達志

森田保美

後見

廣田幸稔
金剛永謹
豊嶋幸洋

地謡

惣明貞助
宇高徳成
豊嶋晃嗣
山田伊純
廣田泰能
今井清隆
松野恭憲
種田道一

主催

龍門之会

後援

公益財団法人
金剛能樂堂財団

まつかぜ
あらすじ

諸国を巡る僧が須磨の浦を訪れると、札を打ち短冊をかけた
曰くありげな松を見つめます。浦人に謂われを問うと、在原
行平に愛された松風・村雨という姉妹の海女の旧跡と聞かされ、
僧は懇ろにその跡を尋ねます。早や秋の日は暮れ、やがて
月明かりの中に二人の海女が汐汲みを終え汐汲車を引いて
帰ってきます。僧はその海女の塩屋に宿を借り、先程海岸で
見た松風村雨の旧跡の松を吊つたことを話すと、二人は共に
涙を流し、実は自分たちこそ松風村雨の幽霊であること
を明かします。二人が昔この地に流されてきた行平の寵愛を受け、
やがて都に帰つた行平はまもなく早逝したことなどを語るう
ち松風は恋慕の情に心乱れ、行平の残し置いた形見の烏帽子・
狩衣を着て、松を行平に見立てて寄り添います。その姿を村雨
は窘めますが松風の行平への恋慕はやみ難く、狂恋の舞を舞
い懐旧の情に松をかき抱き、やがて二人は僧に回向を乞い、
姿は消え、あとには浦を吹き渡る松風のみが残るのでした。



こんごう たつりの
金剛龍謹
能樂金剛流若宗家
公益財団法人金剛能樂堂財団 理事
京都市立芸術大学 非常勤講師

プロフィール
1988年、二十六世宗家金剛永謹の長男として京都に生まれる。
幼少より、父・金剛永謹、祖父・二世金剛巖に師事。
五歳で仕舞「狸々」にて初舞台、これまでに「鶯」「石橋」「翁」
「乱」「道成寺」「望月」「安宅」を披く。同志社大学文学部卒業。
2012年より自身の演能会「龍門之会」主宰。
全国の学校での巡回公演など学生への普及活動、またスペイン、
ポルトガル、ロシア、イタリヤなど国内だけでなく海外公演にも
参加している。
<http://www.kongou-net.com/ryumonnoikai/>

金剛龍謹能の会「龍門之会」入会のご案内
龍門之会にご入会いただきますと、年1回の「龍門之会」のご案内および金剛能樂堂出演の観能会のご案内をさせていただきます。
また、特典として「龍門之会」のチケットを1枚を進呈させていただきます。
◆年会費 5,000円
◆入会方法 お問い合わせ先へ「龍門之会」の入会の旨とともにお名前、住所、連絡先をお伝えください

金剛能樂堂

〒602-0912
京都市上京区烏丸通中立売上ル
☎075-441-7222

●地下鉄烏丸線「今出川」駅下車
6番出口より南へ徒歩5分
●市バス「烏丸今出川」停留所より
南へ徒歩5分

第七回 金剛龍謹能の会 龍門之会 FAXお申し込み書

FAX番号 075-451-1008

お名前 _____ お電話・FAX _____

ご住所 〒 _____

□会員券(1口5,000円) _____ 枚 □一般券(5,500円) _____ 枚 □学生券(3,000円) _____ 枚

〈お申込み後、観能券を郵送させていただきます。お問い合わせは金剛能樂堂まで〉